



TOUR 2015 GRAB THE LIGHT In Fukuoka



メンバーがステージに現れると客席から大歓声。4人は1曲目から全速力。息の合った演奏で会場は熱気に包まれ、盛り上がりは一気に最高潮に達した。テンポの速い曲が多い中、時にはバラードで聴かせクールダウン。MCではこれまでの挫折や苦労、周りからの応援を振り返ると、田邊さんの瞳に涙が。観客にももらい泣きをする人が続出。その後も客席と一つになりながら力強いパフォーマンスを見せた。

現在は東京を拠点として活躍。田邊さんは熊本市、江口さんと高村さんは本市出身で、3人は熊本高専で出会ったバンドを結成した。

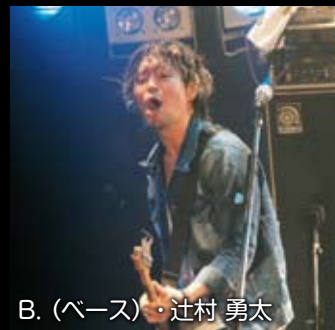
彼らの魅力のひとつは、思わず口ずさみたくなるようなメロディと熱のこもったストリートな歌詞だ。真つすぐな思いも弱い感情もすべてさらけ出す彼らの歌は、転んでも立ち上がろうと必死にもがく20代の青年のありのままの姿。その等身大の思いに多くの人が共感し、共に前に進むという呼びかける声に心震え、支えられている。

ワンマンライブのチケットは毎回ソールドアウト（売り切れ）するほどの人気で、徐々にテレビ出演も増えるなどメディアの注目も集めている。

次のページでは、ライブ翌日に行なったインタビューで彼らの思いに迫る。



Gt. (ギター) ・江口 雄也



B. (ベース) ・辻村 勇太



Dr. (ドラムス) ・高村 佳秀



Vo./Gt. (ヴォーカル/ギター) 田邊 駿一

ブルー エンカント BLUE ENCOUNT

彼らの名はブルーエンカント。2014年9月10日にメジャーデビューした熊本発・東京都在住の4人組みロックバンドだ。

5月30日に福岡県のライブハウスDRUM LOGOS (ドラムロゴス) で行なわれたワンマンライブでは、約900人収容の会場が超満員。全20曲を熱唱し、熱いパフォーマンスでファンを魅了した。



河村理沙さん 平岡拓洋さん
(福岡県北九州市)

田邊さんの熱いMCが大好きです。福岡の夏フェス・ナンバーショットで、10年越しの夢をかなえてステージに立てたことを聞いて感動。思いがすごく伝わって、一気に引かれました。曲はHANDやロストジックスが大好きです。



松原奈那さん 松原秀利さん
(福岡県小郡市)

今日は父と2人で初めてのブルーエンカントのライブです。半年前、受験勉強中に深夜ラジオで「もっと光を」を聴いて好きになり、父にも紹介しました。かっこよくて共感できて盛り上がる曲。受験勉強の元気をもらいました。



稲垣優也さん 安永美彩季さん
(福岡県飯塚市)

4～5年前、飯塚市のライブハウスで初めてブルーエンカントを見てファンになりました。真つすぐすぎるくらいストレートな歌詞が心に響きます。歌で一方向的に応援するのではなく、一緒に頑張ろうというメッセージがうれしい。